



講評：米 美知子

期間：2009年9月29日（火）－30日（水）

場所：長野県松本市乗鞍

「紅葉の名所」といわれる乗鞍で開催された第8回写会。

当日は雨模様の天気でしたが、数年ぶりといわれる美しい紅葉に巡り会うことができました。

参加者の皆さんが期間中に撮影した写真の中から、講師の米 美知子さんが一枚を選んでコメントする「WEB 講評会」。

赤や黄色の紅葉に彩られた乗鞍の美しい風景と、米さんの講評をご紹介します。

\*「米 美知子さんと行く錦秋の乗鞍」の撮影会レポートは、隔月刊『風景写真』1-2月号 148ページにも掲載しています。



秋観のひととき 渡邊善也さん

タイトルの通り、静かな印象の作品です。落ち着いた色彩が美しく、広めに撮ったことで、霧に覆んでいる周囲の雰囲気もよく出ています。



レッドカーペット 鈴木啓二郎さん

ナナカマドの群落を右下から左奥に向かってうまく並べ、その先に黄色いダケカンパを配したことで奥行き感が出ています。タイトルもお洒落で、作品とマッチしています。



錦屏風 高橋由香理さん

4本のシラカバの幹の太さや並べ方が絶妙で、雨で艶やかに色づく紅葉を引き立てています。「錦屏風」と表現した作者のイメージが伝わってきます。



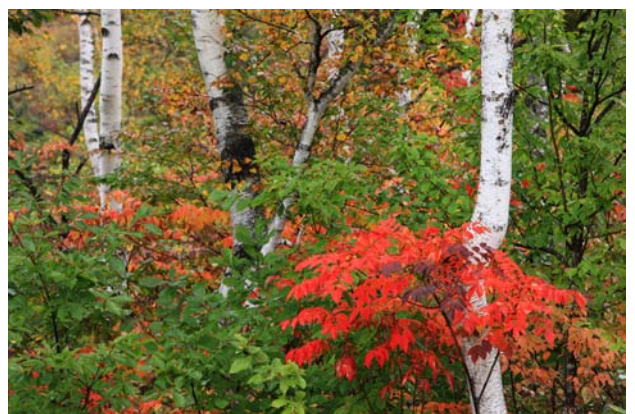
霧雲去り tiさん

左側手前の2本の木から右上部の雪渓へと視線を誘導することで、奥行きのある画面になっています。上部に霧を配したことも、この作品の雰囲気を高めています。



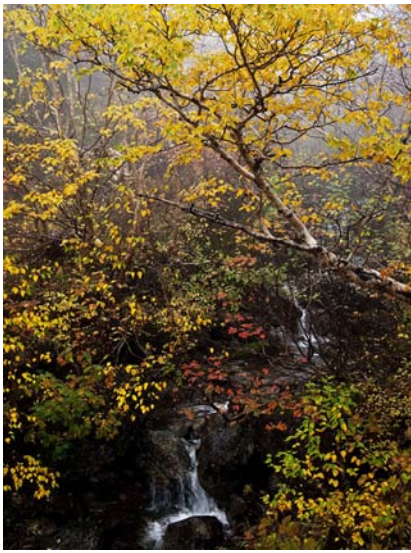
静寂 北條真奈美さん

「まいめの池」の静寂感と、背景で湧き上がる霧の動感が素敵な作品です。雨が上がった直後の情景を、いいタイミングで捉えています。



紅の森 高木和男さん

バランスよく配したシラカバに真っ赤なウルシが効果的です。雨でしっとりと美しく色づいた紅一点のポイントを、タイトルでもうまく表現しています。



**残秋の刻** 館岡保夫さん

ワイドレンズを使って名もない小さな滝を上手に撮っています。右上に大きなダケカンバを配したのも、いいアクセントになっています。



**雨中秋色** 柳沼秀雄さん

緑から赤へと色づいたナナカマドをポイントに、左奥に山の稜線を見せて奥行き感をうまく引き出しました。雨の日ならではの秋色が表現されています。



**わたしの秋作ドレス** 奥村静夫さん

ウルシの赤いドレスをまとった真っ白なシラカバが美しい作品です。タテ位置でのフレーミングもいいですね。タイトルに作者のお洒落な心が見てとれます。



**春秋色に染まる** 大久保 俊さん

冷泉小屋の前を流れる苔むした滝を、タテ位置で美しくフレーミングしています。緑の苔と上部の赤い紅葉の取り合わせが印象的な作品です。



**イヤリング** 永田明徳さん

作品とタイトルがピッタリとマッチした作品です。雨の雫が付いていることで、より魅力が増しました。絞りの選択もよく、タテ位置でのフレーミングも適切です。



**紅葉の滝** 松村貴司さん

小さな滝とその手前の葉だけをシンプルに切り取ったお洒落な作品です。散りばめた黄色と赤の葉が、落ち着いた印象を醸し出しています。



**華やかな季節** 門脇宏悦さん

真っ赤なナナカマドと緑のハイマツ、そして黄色のダケカンバが、バランスよくフレーミングされています。手前から上部へと紅葉をジグザグに配したのも効果的です。

# Norikura Photo Tour